

令和2（2020）年度 長岡大学シラバス（改訂）

授業科目名 科目コード	新潟の歴史 (History of Niigata) 2013011-051					担当教員	遠山 典子 (トオヤマ ノリコ)		
科目区分	一般教養 科目	必修・ 選択区分	選択	単 位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目／課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要

近年、地域史の重要性が歴史学において提唱されている。本講義では、高校までの教科書的な中央の政治史を中心とした視点とは異なり、新潟県の風土や産業、人物などを取り上げ、新潟県がどのように形成され、どういう歴史を歩んできたかを考察する。テキストや資料だけでなく、プロジェクトで画像なども提示しながら授業を進めたい。

なお、身近な史跡や文化遺産にも直接ふれられるように、当初の予定では、地域や県内の博物館、資料館、史跡などへの見学レポートを考えたが、新型コロナウイルスの流行の影響で調べ学習とする。単位習得レポートも、各個人の興味・課題にもとづいた計画及び事前資料の作成とする。

なお、身近な歴史・生活文化を考察するために、第1・4講義の課題は自己の出身地に関するものとした。

② ディプロマ・ポリシーとの関連

地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力

③ 授業の進め方・指示事項

授業は、インターネット配信の講義でおこなう。授業は学生の主体的な学びの導入で、そこから興味を持ったテーマに関する各回の学習課題の作成・提出が重要である。評価は、課題と単位習得レポートの内容を中心に行う。

④ 関連科目・履修しておくべき科目

他の地域志向科目と関連しているので、次年度以降も含めて、できれば併修が望ましい。

⑤ 標準的な達成レベルの目安

(i) 講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいるか。

(ii) 自己の興味を持った人物や事象について、調べまとめる。

(iii) 自己が設定したテーマに基づいた見学コースを作成し、解りやすい事前資料を作成し、自己評価する。

⑥ テキスト（教科書）

田中圭一他『新潟県の歴史（県史15）』山川出版社(2017) 第2版3刷

⑦ 参考図書・指定図書

山本博文『あなたの知らない新潟県の歴史』洋泉社歴史新書(2013)

小和田哲男『もっと知りたい新潟県の歴史』洋泉社歴史新書(2015)

『新潟県の歴史散歩』山川出版社(2009)

伊藤義允『新潟 地理・地名・地図の謎』実業之日本社(2015)
 伊藤 充『新潟県 県民性の歴史』(2018)『新潟県 県民性の人物史』(2019)新潟日報事業社
 『図説 長岡開府四百年』いき出版(2018)
 『新・にいがた歴史紀行 (全12巻)』新潟日報事業社(2004)

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			45%	25%		30%		100%
(i) 地域への理解・愛情をもつて、主体的に資料や歴史遺産に接し学んでいるか。			10%	5%		15%		30%
(ii) 自己の興味・関心に基づいて課題やレポートのテーマを適切に設定し、構成しているか。			15%	10%		15%		40%
(iii) 課題やレポート作成に関して、対象者に自分の意図をうまく伝達できる文章等の表現力があるか。自己評価が適切にできるか。			20%	10%				30%
フィードバックの方法	各回の授業で出された課題、単位習得レポートに対して講評する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

この授業は新潟県の歴史全体を扱うが、教室だけの講義にとどまらず、積極的に個々の興味・関心に基づいて、地域の史跡や歴史遺産、博物館、資料館などを調べ、主体的に自らの興味に基づいた歴史を学んでほしい。また、新型コロナウイルスの流行が終息したら、是非自ら調べた史跡や施設に足を運び、生きた歴史を体験してほしい。

今年度開講科目で未知な部分もあるが、試行錯誤を重ねながら実施していきたい。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	新潟県の風土と特産物・伝統産業・食文化について	テキスト・ノート・筆記用具・配布資料	自分の出身地の風土や特産物・伝統産業・食文化などテーマを決めてまとめる。[全課題、メールで提出]

2	火焰土器の国—縄文時代	同上	県内の火焰(型)土器・縄文時代の展示がある博物館・資料館を調べ、その感想をまとめる。	120分
3	古代・中世の越後と佐渡	同上	越後国・佐渡国の成立過程についてまとめ、興味をもった事象について調べる。	60分
4	越佐の伝説	同上	自分の故郷の伝説や伝承もしくは史跡を紹介する。	60分
5	春日山城と上杉氏 —謙信・景勝、直江兼続など—	同上	テキストを参照し、春日山城や上杉氏もしくは興味を持った人物や史跡について調べる。	120分
6	江戸時代の越後・佐渡	同上	テキストを参照し、興味を持った藩や地域について調べ、その感想をまとめる。	120分
7	越後の伝統産業 —織物を中心に—	同上	新潟県の代表的な伝統産業をとりあげ、その由来や現在どのような状態か調べる。	120分
8	越佐の学問 —長岡藩を中心に—	同上	自分の出身地もしくは興味をもった江戸時代の学者や学問について調べ、感想をまとめる。	120分
9	北越戊辰戦争 —長岡藩と河井継之助を中心に—	同上	自分の出身地もしくは興味をもった北越戊辰戦争関連の史跡やエピソードを調べ、感想をまとめる。	120分
10	「米百俵」と長岡の人材教育	同上	「米百俵」のエピソードや、興味を持った藩校や私塾について調べ、まとめる。	120分
11	明治以降の新潟県 —「地主王国」新潟—	同上	県内の豪農の館や、明治以降の近代史跡を調べ、まとめる。	120分
12	新潟の近代産業	同上	新潟の近代産業に関連して、興味をもった人物や事象について調べる。	60分
13	長岡空襲 長岡空襲に関するビデオ上映	同上	長岡空襲に関するビデオを視聴し、感想をまとめる。	60分
14	新潟の偉人たち(近代)	同上	興味ある新潟の偉人について調べ、その人物の業績や感想を記す。	120分
15	地域探訪コース(単位習得レポート)に関する説明及び・作成準備	同上	個々のテーマを決めて、中学生向け地域探訪コースの計画ならびに配布資料を作成し、自己評価する。(単位習得レポートとなる)	300分

⑪ アクティブラーニングについて
<ul style="list-style-type: none"> ・当授業では講義と各課題の提出を基本とし、知識定着・確認型 AL を行う。 ・単位習得レポート及び4回（第2・7・9・11講義）の課題では、実際に博物館・資料館・史跡を訪れる課題探求等学修・フィールドワークによる課題解決型 AL を行う予定であったが、新型コロナウイルスの影響で調べ学習に変更する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
<p>高等学校の教員として、地域の歴史や文化財に関連する教材をたびたび取り上げた。特に、「郷土再発見―郷土の再発見を通して自ら学ぶ心を育てる―」をテーマとして学校全体で郷土の歴史・文化財・伝統産業などを学んだ「いきいきスクールプロジェクト」では企画・運営を担当した。また、日本史 A 教科書の付属 CD-ROM として「地域学習の手引き（新潟県編）」を作成した。</p> <p>新潟県立歴史博物館では、教員籍の主任研究員として、広報と団体案内、体験学習の指導を行い、研究活動では福武学術文化振興財団の「次世代歴史・地理教育支援助成」も受賞した。</p> <p>また、長岡市のまちづくり市民研究所の研究員・平成国漢学校の塾生として「米百俵」の見直しや伝承・実践プログラム作りに取り組み、長岡開府四百年事業で「花開け、私の米百俵」の発表、『図説長岡開府四百年』では、「米百俵と長岡の人材教育」「小林虎三郎」「長岡藩の人体解剖」を著述した。現在、長岡郷土史研究会幹事や河井継之助記念館の『河井継之助傳』の読書会の講師などの活動を行い、2020年4月からは、河井継之助記念館学芸員として勤務している。</p>
実務経験と授業科目との関連性
<p>長年、新潟県を中心とした地域史の研究活動と教育・普及活動を行ってきた。関連の著作もいくつかある。特に、高校の教員としての経験から、地域の歴史・文化・伝統産業の重要性や地域史を学ぶ意義と楽しさを学生に伝え、地元の資料を教材化して授業を構成することに取り組みたい。また、博物館勤務や「地域学習の手引き（新潟県編）」の作成の経験から、新潟県全体の歴史や文化の研究活動の成果を解りやすく伝えたい。定年退職後は、長岡郷土史研究会の幹事として研修旅行の企画、実施や読書会や講演会の講師として地元の歴史を一般の人に伝える活動にも携わっている。</p>